

おだがいさま

odagaisama

92号
令和3年
2月1日発行

伝えたいのは…

あきらめない

きもち



福祉学習講師の武久明雄さんにお話しを伺いました

鶴岡市社会福祉協議会では、鶴岡市内の小・中学校を中心に福祉学習に力を入れています。毎回ゲストティーチャーという形で講師をお呼びしていますが、今回はそのお一人、武久明雄さんをご紹介します。

武久さんは、40代の頃脳幹出血で倒れ、その後遺症で手と足がほとんど動かなくなり、車いすでの生活となりました。病気になった当時は「なんのために生きているのだろう。」と生きる意味を見い出せずでしたが、「泣いてもわめいても何も変わらない。何かできることはないか。」と思うようになり、自分の経験を子どもたちに伝え「思いやり」や「困難に負けないところ」「夢を持つことの大切さ」などを知って欲しいとの思いから福祉学習に関わることになったそうです。平成24年からは「心の授業」と称し、現在まで精力的に活動されています。

武久さんに今後の活動についてお伺いすると、「子どもは未来。福祉学習は未来貢献だと思っている。自分の経験を通してたくましい子に育てて欲しい。子どもたちには**①ものは考えよう、②幸せも不幸も自分の気持ち次第、③人生をあきらめなければなんとかなる、**と伝えたい。」と話してくださいました。今後の武久さんのご活躍をお祈り申し上げます。

鶴岡市社会福祉協議会では、今後も「福祉のこころ」を育む福祉学習に力を入れていきます。



夫婦二人三脚での永年の活動が認められ、2020年度 山新「愛の鳩賞」を受賞されました。

年頭のご挨拶



会長 山本 知也



あけまして、おめでとございます。

昨年中は、社協の活動に多大のご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今年のお正月は、長引くコロナ禍の中でご家族ご親族の帰省もままならず、少しさみしい思いをされた方もおられるのではないかと思います。また、事業の縮小や休業などにより、不安な中で年末年始を過ごされた方もおられるのではないかと存じます。

社協では、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に生活が困難となった方に、生活福祉資金をお貸しする事業を行っており、昨年三月以降四百人近い方々からご相談をいただいております。当座の生活資金にお困りの方は遠慮なくご相談くださいますようお願いいたします。

また十一月には、閉館した「まちなかキネマ」に社協本部が移転する話が報道されたところですが、令和三年度の事業計画が固まり次第、その概要について皆様にお伝えしてまいります。

今年もまた、鶴岡市社会福祉協議会は役員が一丸となって、一人でも多くの市民の幸せを願い、皆様のご協力をいただきながら「おだがいさまのまちづくり」を進めるとともに、より良い福祉サービスが提供できるよう全力を尽くしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

第二学区コミュニティ振興会・社会福祉部

小学生から
高齢者へ

お手紙での「ふれあい訪問」

二百六名の高齢者へ送られたお手紙

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、第二学区コミュニティ振興会・社会福祉部の事業も開催延期・中止を余儀なくされてきました。

第二学区コミュニティ振興会・社会福祉部

では、例年一人暮らし高齢者を対象に、「ふれあい訪問」を実施してきました。今年度は実施方法を検討する中で、鶴岡市立朝陽第二小学校の三、四年生の児童の皆さんからお手紙を書いてもらい、希望者に郵送でお届けすることに決まりました。

希望者が二百六名おり、社会福祉部の皆さんが一生懸命、宛名を書き上げたそうです。お手紙には、児童の皆さんが頑張っている勉強やクラブ活動のことが綴られ、「お体を大切に元気で過ごしてください。」と優しい言葉で締めくくられていました。受け取った方からは、お礼の手紙を送りたいとの声がかかっているとのことでした。

ふれあいの訪問

第二学区コミュニティ振興会・社会福祉部では「コロナ禍だが、状況を見ながら地道な見守り活動が続けていきたい」とお話しされていました。コロナ禍での地域福祉活動をどのように実施していくか、各地域で模索されていますが、「できることから少しずつ」地域の見守り活動が続けていただきたいと思います。



令和二年

鶴岡市社会福祉協議会表彰者のご紹介

令和三年一月、長年地域福祉の発展のため献身的に尽力された

二人七団体に表彰状をお贈りしました。

表彰状

❖ 齋藤 榮三郎 氏 (鶴岡地域)

第四学区社会福祉協議会会長、鶴岡市学区・地区社会福祉協議会連絡委員会委員長、第四学区コミュニティ振興会副会長を歴任し、地域福祉向上のため尽力された。

❖ 小林 光雄 氏 (榑引地域)

公益社団法人全国脊椎損傷者連合会理事、鶴岡市榑引身体障害者福祉協会会長を歴任し、長年公共施設の駐車場にある障害者用駐車場を国際基準色である青色に塗装し整備する活動を行うとともに、同駐車場の啓発活動に取り組み、地域福祉の推進に貢献している。

❖ 湯田川地区社会福祉協議会 (鶴岡地域)

平成七年設立。長年サロン活動を継続され、会食会や日中独居高齢者のための「ひだまりの会」を実施するなど、地域福祉活動の充実に貢献している。

❖ 三瀬地区福祉のまちづくり協議会 (鶴岡地域)

平成四年設立。平成二十五年度より毎年見守りネット担当者会議を開催し、日々の生活の見守り活動を実施。また、安心カードの他に「おだがいさまネットカード」を独自に設置するなど、地域福祉活動の充実に貢献している。

❖ 西郷地区社会福祉協議会 (鶴岡地域)

昭和五十二年設立。地域の高齢者の閉じこもり解消や健康維持・促進を目的とした会食交流会を実施。また民生委員・児童委員と協働し、「新生児お祝い訪問」を実施するなど、地域福祉活動の充実に貢献している。

❖ アナンシサークル (榑引地域)

平成八年設立。子どもたちを対象に絵本の読み聞かせ活動を長年続けている。参加する子どもたちのぬいぐるみを預かり、ぬいぐるみたちがその子どもたちにお勧めの絵本を選ぶといった趣向を凝らした「ぬいぐるみ泊り会」などのイベントも好評を得ている。本の楽しさや語り合いに触れることで子どもたちの心の成長に貢献し、地域福祉の推進に尽力している。

❖ あさひ読み聞かせの会 (朝日地域)

平成十年設立。子どもたちを対象に絵本の読み聞かせ活動を長年続けている。読み聞かせ活動を通して、幼児や小学生へ本に触れる機会を増やしてほしいという思いのもと、本の楽しさを伝え、子どもたちの健全育成に貢献し、地域福祉の推進に尽力している。

❖ 温海絵本読み聞かせ隊ポッケ (温海地域)

平成十五年設立。子どもたちを対象に絵本の読み聞かせ活動を継続しており、活動件数は年間百件にものぼる。本を通じた子どもたちの健全育成に貢献し、地域福祉の推進に尽力している。

❖ 手話サークル手輪 (鶴岡地域)

平成十四年設立。長年に渡り、手話通訳を通して聴覚障がい者の社会参加を支援するなど、地域福祉の推進に貢献している。

手話サークル手輪さんからのメッセージ

みなさんで一緒にやってみましょう！

ありがとう

① 左手の甲に
右手をたてる



おめでとう

① 両手を
すぼめて



② 右手を上にあげ
頭をさげる



② 両手をあげ
ぱちぱち開く



鶴岡福祉バス予約会のお知らせ（令和3年4月～6月分）

鶴岡福祉バス予約会のための事前申込を次の日程で受付けます。（新型コロナ感染対策のため、当日抽選は行いません。詳細は受付時に説明します。）

***受付期間** 2月1日(月)～2月12日(金)
9時～17時(土日祝除く)

※受付順番によって優位になることはありません。
※FAXや郵送での受付も可能ですが、土日祝の受付分は翌平日のご連絡になります。
※申請書には必ず押印をお願いします。

***対象期間** 4月～6月
(期間内で1団体1回の予約ができます。)

***利用対象** 旧鶴岡市区域に住所を有する団体

***予約会日時** 2月22日(月) 10時～12時

***会場** 鶴岡市総合保健福祉センター
(にこ♥ふる) 3F 大会議室

※新型コロナ感染拡大の状況によって、中止や変更となる場合があります。

***申込み・問合せ**

鶴岡市社会福祉協議会総務課 福祉バス担当
☎24-0053（申請書は同所にあります）

※新型コロナ感染拡大防止対策のため、当間の間、乗車人数に制限を設けての運行となります。
※観光や慰安目的でのご利用はできません。

生活福祉資金、緊急小口資金拡充支援資金貸付について

山形県社会福祉協議会生活福祉資金緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付）及び、鶴岡市が実施する緊急小口資金拡充支援資金貸付の申込受付期間が3月31日まで延長されました。

ご相談・お問い合わせはお住いの福祉センター（下記参照）まで。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和2年11月1日から令和2年12月31日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・真言宗豊山派山形二支所仏教青年会 様 73,300円
・真如苑 庄内支部 様 200,000円
・善寶寺専門僧堂 様 10,000円

◎藤島福祉センターへ

・(株)大沼工務店 様 10,000円

★地域福祉センターなえづへ

・鈴木 日出夫 様 10,000円
・(株)産直あぐり 様 りんご3箱

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ

・曹洞宗山形県第三宗務所 婦人会 様 雑巾140枚
・佐藤 京子 様 玄米30kg、タオル38枚
・佐藤 様 玄米50kg
・鶴岡市立大山小学校 様 15,000円

★老人デイサービスセンターおおやまへ

・工藤 七三郎 様 手作り門松 1対

★老人デイサービスセンターたかだてへ

・(株)ファミリーマート 様
クリスマスケーキ5個、一口チキン60個

★とようら老人デイサービスセンターへ

・山形日産自動車販売(株) 茅原店 様 車椅子1台
・百瀬 清昭 様 精米60kg

★櫛引すこやかセンターへ

・(株)産直あぐり 様 りんご4箱
・工藤 七三郎 様 手作り門松 1対

★くしびき保育園へ

・出羽商工会櫛引支所 様、田川建設労働組合
櫛引支部 様 大型絵本3冊

★くしびき西部保育園へ

・(株)トガシ技研 様 手指消毒スタンド1台
不織布マスク100枚入1箱

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・(株)クアポリス温海 様 30,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・(株)産直あぐり 様 りんご3箱
・スマイルサンタクロース 様
クリスマスケーキ5個

★もみじが丘へ

・マックスバリュあつみ店 様
お菓子16袋、ミカン5kg1箱、クリスマスケーキ6個
・(株)産直あぐり 様 りんご2箱

★訪問介護事業所へ

・匿名 様 50,000円

★高齢者福祉事業所及び児童福祉事業所へ

・剣持 辰雄 様 座布団24枚

★障がい者福祉事業所へ

(鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
及びもみじが丘へ)

・(株)ニシカワ鶴岡工場 様 160,796円

★くしびきデイサービス・

櫛引地域の4保育園へ

・櫛引地域婦人会 様 タオル87枚

★フードバンクへ

・共立社鶴岡生協 様 食料・飲料品49点
・山形県社会福祉事業団 庄内地域施設職員一同 様
食料・飲料品96点

・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
山形テクノロジーセンター 様 廃活動 様

食料・飲料品70点

・JA 鶴岡女性部 様 食料・飲料品55点

・JA 庄内たがわ女性部 様

食料・飲料・介護用品83点

★特別指定寄附

(就労継続支援B型事業所きらり井当部
とんが村、就労継続支援施設もみの木へ)

・山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会 様
100,000円

おだがいさま

第92号
令和3年2月1日発行
発行部数 48,800部



編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)
TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110
ホームページ <http://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053
藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
櫛引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。